

The 237th Programming Deliberation Committee

第 237 回番組審議会 議事録

開催日 2020 年 2 月 18 日（火）

出席者：湯川れい子委員長、亀渕昭信委員、攝待卓委員、井手口彰典委員

1、

議題（審議番組）： 「TOKYO SCENE」

放送日時： 金曜 20:00 - 23:00

DJ： REN YOKOI、YonYon、Awich (Tokyo Scene Monthly Artist)

会社からの説明

東京を生きる若者の音楽カルチャーシーンにフォーカス。DJ は REN YOKOI、DJ YonYon。21 時頃からは番組が注目するアーティストがマンスリーでコーナーを担当！そして 22 時からはフランスの WEB 媒体「Real Japanese Hip Hop」とのコラボ！フランス人編集長ロジェが注目する”Tokyo Scene”を語ります！毎回スタジオで DJ が生 MIX も披露！金曜の夜、街に繰り出したくなるような HOT な内容でお届けします。

委員からの意見・感想

審議委員 A

全体的な統一感がなく、各コーナーがばらばらしていて、ひとつの番組という印象がない。一方で、DJ のゆるさ、脱力感は聞きやすかった。クラブミュージックに反した DJ のおっとりした口調が、クラブに縁遠い人にも聞きやすい雰囲気を作っていた。ゲストコーナーに関しては、トークにまとまりがなく、ごちゃごちゃして聞こえた。選曲もいまいち番組コンセプトと合っていないようで違和感があった。ゲストとのトークを整理して進行できるとより良い番組になるのではないかな。

審議委員 B

ただらとしていて内輪受けの話が多いと感じたが、番組コンセプトを意識した上で聞いてみると、こういうしゃべりはアリだなと思った。いまの、若者の典型・若者らしさがうかがえる番組。生の DJ MIX はクラブの情景が浮かぶようでリアル感があり良かった。

また、クラブインフォメーションは「これから街に繰り出す、クラブに行く人」向けに作っていて良かったが、より細かい情報が伝えられるとよいのではないか。22 時からのロジェのパートは最も良かった。日本のヒップホップを普段聞かないが、選曲がすばらしく、説明も深く、非常に良かった。

審議委員 C

いろんなレイヤーになっている番組。楽曲やトークなど全体的なフロー（流れ）の良さはあるものの、ミニコーナーなどが入ることによって途切れてしまう印象。聞き流しには向いている。ただ、DJ のしゃべりはだらだらとしていて気になった。生放送であることやリスナーを意識したトークができるようになることより良くなるのではないだろうか。マンスリーアーティストコーナーは面白かった。人選もよく、そのアーティストによる選曲もよい。22 時からのフランス人 DJ の時間も、選曲がとてもおもしろかった。

審議委員 D

DJ たちの口調はだらだらしていて、つまらなく感じたが、続けて聞いていると、これが今のスタイルなのかと斬新に感じるようになった。いまのクラブシーンをより知りたいと思わせてくれる番組で、久しぶりに面白かった。クラブインフォメーションや音楽紹介にとどまらずに、今の若者がどこに遊びに行っていて、こんな音楽に熱中している！こんなおもしろい遊び場がある！ということを教えてあげられる番組になると、さらに良くなっていくのではないだろうか。マンスリーアーティストコーナーに関しては、面白い人選で彼女自身の勢いが特に好きだった。フランス人 DJ・ロジェのコーナーはジャパニーズヒップホップについて非常に勉強になった。独立した番組にするべきだと思う。

—会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上